

165億2,767万円



質疑の一部をお伝えします。



南中学校運動会(9/27)



- 決算審査は、すでに執行済みのものとして軽く見る傾向がありますが、決してそうではありません。
- 議会が議決した予算を適正に執行しているか、住民の皆さんに代わって評価するという大変重要な意味があります。
- 決算特別委員会では、主に次のことに注意し、あらゆる角度から審査を行いました。
- 町民に不公平感をもたらすことのないよう、町税や利用料、使用料の徴収がなされたか
- 効率的に事業を行うため、補助金確保の努力がなされたか
- また、その効果があらわれているか
- 発生した不用額はやむを得ないものか
- 予備費の充用はやむを得ない理由であり、適正に行われたか

歳入

国庫支出金のうち、国庫補助金が7,398万6,477円未収となっている。これはどのようなものか。

答弁

道路事業等は国庫補助を受けて実施している。この中で、土地並びに補償費については、契約をしても実行されるまでには長い時間がかかる。その場合は翌年度に繰越をして実行されるため、計上した。

保育料の滞納繰越として69万8,900円計上されている。この理由は何か。

答弁

消滅、時効などによるもので、不納欠損5件分である。

平成18年度決算 歳出

決算特別委員会における

総務常任委員会

学校部分林は、中学校のために利用することを目的に設定したとある。今年度から始まった玉村中学校の建設に必要なということか。



昭和29年5月に、国と町教育委員会との間で契約が結ばれ、木を売った収益を当時の玉村中学校のために使うとして設定した。しかし、切り出すには問題点や課題も多く、費用もかかる。どのように使うかは、今後検討していく。

臨時職員の賃金についてはどうか。



前年度より700万円減の約3億3,000万円だった。社会保険料についてはあまり差がないが、退職手当の加入負担金は新たに加入したため、7,200万円全額増えている。

職員給与は、17年度と比較してどのような増減か。



正規職員、議員などの人件費は18億6,553万円で、伸び率は前年度より減の0.8%である。この理由は、職員が4人減ったこと、育児休暇中の職員が多かったことによる。

たまりんの18年度利用者総数を運行コースで割ると、1台あたり2.5人弱であり、1回あたり1人787円かかっている。町民のニーズにしているか。



超過勤務の状況を問う。



総額は約2,000万円で、前年度より400万円程度増えた。職員は、事前に課長・係長の許可を受けており、翌日退庁時刻の確認もしている。住民からのニーズも多種多様化し、各部署の負担が増えているものと思われる。

安心・安全まちづくり推進事業は、前年度と比べるとパトロール隊の人数は増えたのか。



17年度よりも多い10人を雇用した。午後1時から午後6時までの5時間勤務であるが、通常の防犯と児童の安全という意味では、対応できていると思う。

利用者・運転手の意見や、町への問い合わせなどを聴取している。利用者は増えている。便を増やすことや路線の新規開拓も検討しているが、現在の台数では無理な状況である。